建仕２１２－０８

除雪グレーダ（４．０ｍ級）仕様書

平成２０年度

除雪グレーダ（４．０ｍ級）仕様書

概　要

この仕様書は、除雪グレーダ（４．０ｍ級）に適用するもので、納入機は下記に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、道路除雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性と、良好な操縦性能を有するものとする。

納入機は運輸省令昭和２６年第６７号（以降の改正分を含む）「道路運送車両の保安基準」に適合するもの、又は平成１７年法律第５１号「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」に基づく「特定原動機技術基準」及び「特定特殊自動車技術基準」に適合するものでなければならない。

但し、継続生産車・輸入車・少数生産車については平成３年１０月８日付け、建設省経機発第２４９号（以降の改正分を含む）「排出ガス対策型建設機械指定要領」または平成１８年３月１７日付け、国総施第２１５号「第３次排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき指定または届出され、２次基準値以上に適合した排出ガス対策型建設機械とする。

ここに明記されていない箇所については岩手県（以下「甲」という）と物品供給人（以下「乙」という）が協議のうえ決定するものとする。

１．性　　能（JCMAS T005 性能試験）

項目	値
（１）除雪幅	3.4 m 以上
（２）最大除雪高さ（新雪ρ=0.08t/m3、除雪速度15km/hにおいて）	0.2 m 以上
（３）ブレード線圧	26 kN/m以上
（４）走行速度	45 km/h以上
（５）騒音レベル（オペレータ耳元、無負荷、車両停止、機関最高回転速度、運転室扉窓密閉にて）	85 db(A)以下

２．主要諸元

項目	値
（１）全　　長	10,000 mm 以下
（２）全　　幅	2,500 mm 以下
（３）全　　高（黄色灯火上端まで）	3,800 mm 以下
（４）最低地上高	240 mm 以上
（５）車両総質量	18,000 kg 以上　20,000 kg 以下

なお、「７．付属装置及び付属品　７－２車両総質量に含まないもの」以外は、本車両総質量に含むものとする。

項目	値
（６）最小回転半径（最外側車輪中心）	8 m 以下
（７）乗車定員	2 人

6．照明装置類

（1）前部霧灯又は前部作業灯		2灯
（2）黄色灯火（散光式）	前 全幅　500mm以上	1式
	後 全幅 1,100mm以上	1式
（3）前方作業灯		2灯以上
（4）後方作業灯		1灯以上

7．付属装置及び付属品

7－1　車両総質量に含むもの

（1）バックブザー(後方1mにおいて、音圧80dB(A)以上)	1式
（2）カーヒータ（温水式、デフロスタ付）	1式
（3）ウィンドウォッシャー前・後（電動式）	1式
（4）標識板（300×570mm以上、車体後部取付）	1式
（5）アンダーミラー(後)	1式

7－2　車両総質量に含まないもの

（1）標準付属工具	1式
（2）取扱説明書	1部
（3）部品表	1部
（4）履歴簿	1部

8．塗　　装

国土交通省建設機械塗装基準による。

9．検　　査

完成検査は、寸法、外観、溶接、その他組立状況を検査し、さらに車両や作業装置類の動作等の確認を行い全般的な機能を検査する。

ただし、車両総質量については、本仕様書で定めたとおりであるかを、その内訳が判る資料により検査する。

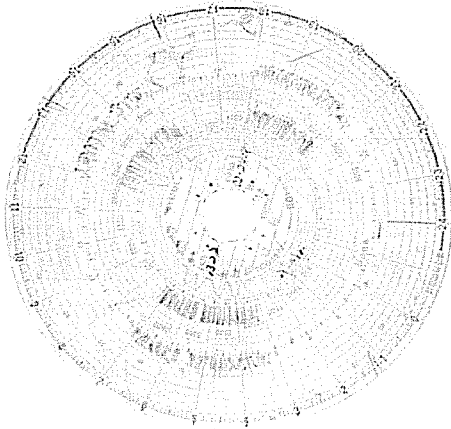
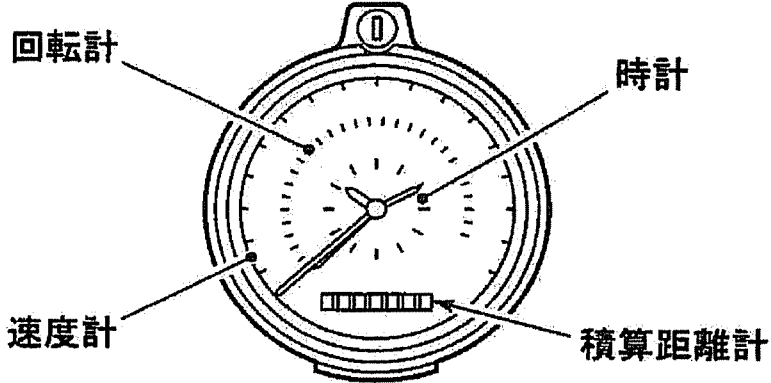
検査に要する器具、人員等は乙において準備するものとする。

10．保　　証

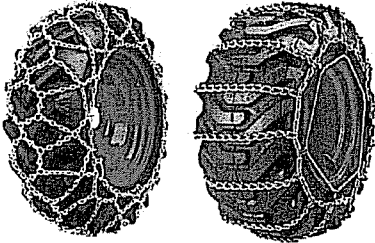
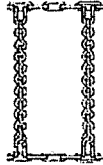
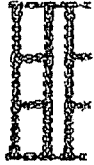
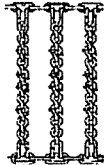
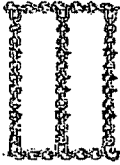
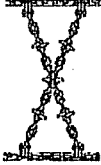
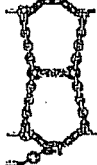
納入後1箇年以内に設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には、乙は無償修理を行わなければならない。ただし、製作会社等が別に定める保証期間が1箇年以上にわたる場合にはそれを適用する。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、甲と乙が協議のうえ、乙に無償修理を行わせることがある。

除雪グレーダ（4．0ｍ級）オプション装備

５．計器類

（※）運行記録計（90km/h、機関回転数記録、７日計）　　１式

（※）機関回転計（運行記録計組込型も可）　　１式

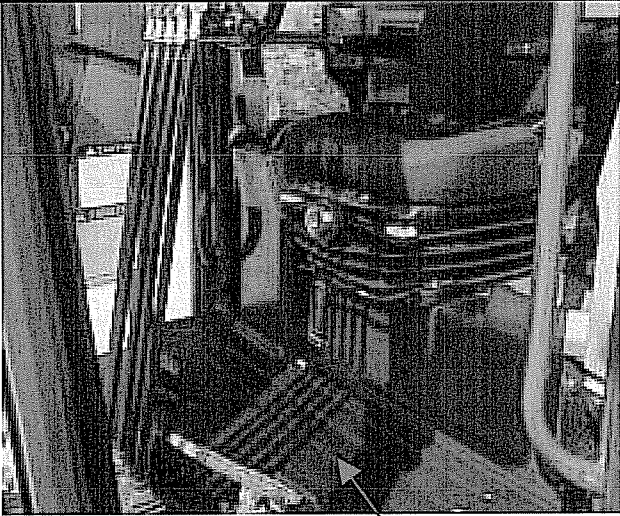
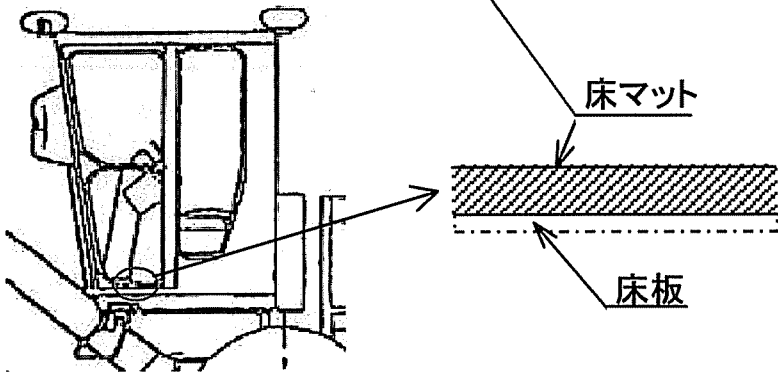
７．付属装置及び付属品

（※）タイヤチェーン（Ｓ型）　　１式

（※）床マット　　１式

（※）ブレードスリップクラッチ　　１式

（※）シャッターブレード　　１式

（※）ブレード緩衝装置　　１式

（※）ラジオ　　１式

オプション機器説明様式

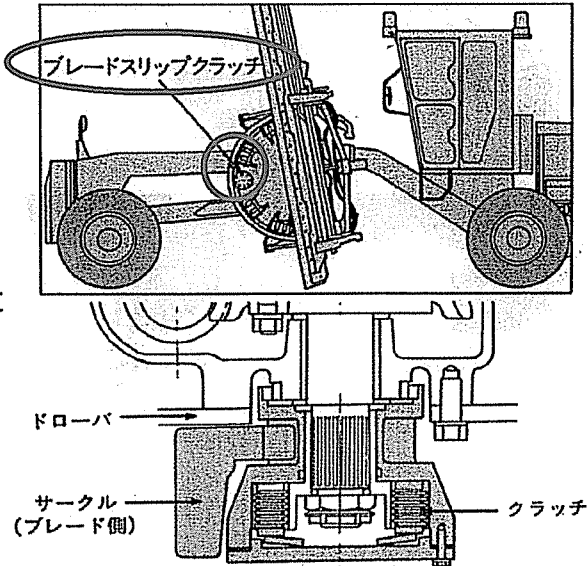
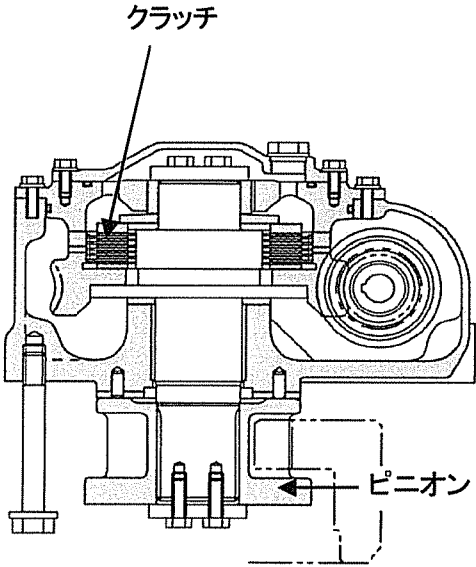
		記号
機種	除雪グレーダ	G
統一機器名称	運行記録計	

車両の走行状態を逐次記録紙（チャート紙）に記録する計器。

写真

チャート紙

構造

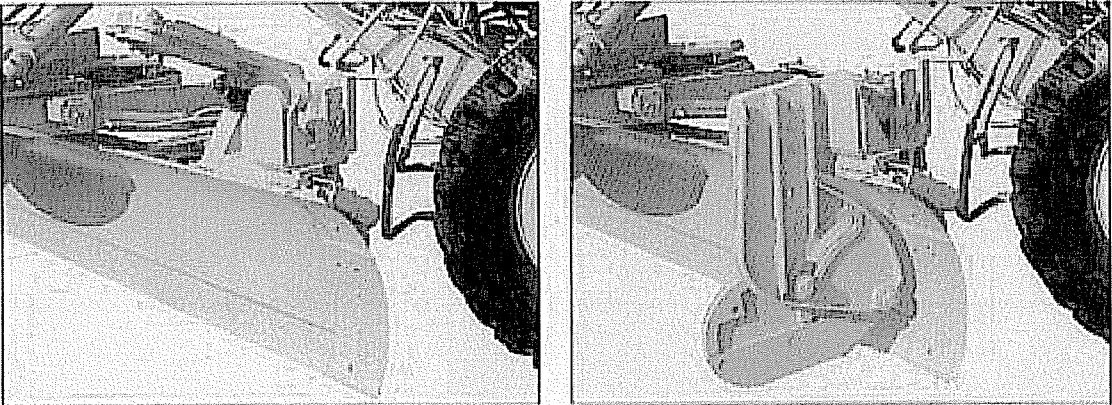
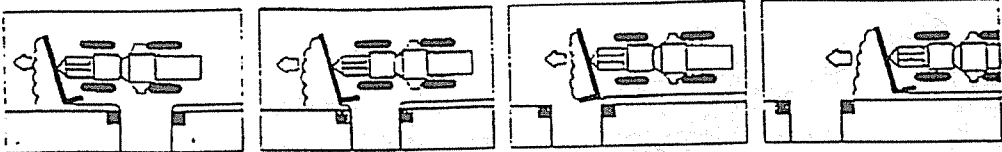
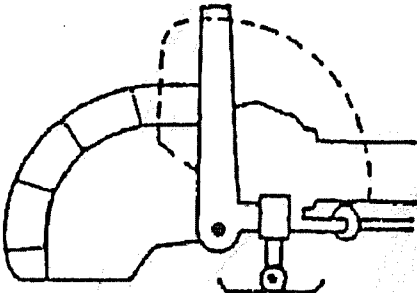
他の呼び名1	タコグラフ	
他の呼び名2		
他の呼び名3		

オプション機器説明様式

		記号
機種	除 雪 グ レ ー ダ	G
統一機器名称	チェーン	

駆動力の確保、タイヤのスリップ防止のためにタイヤに装着するチェーン。

写真

構造

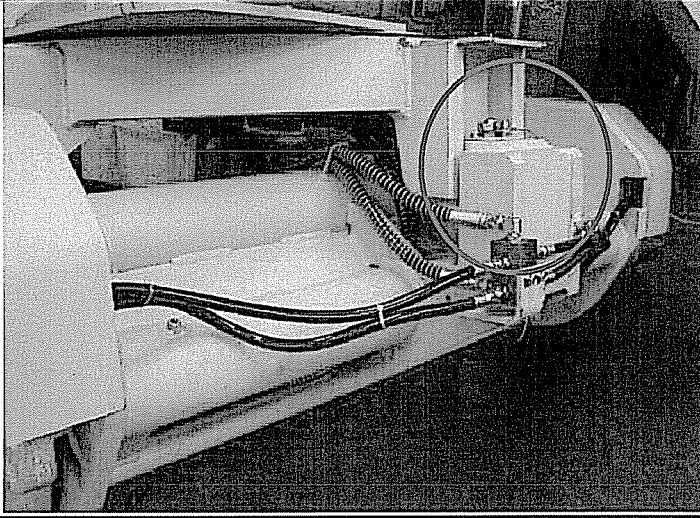
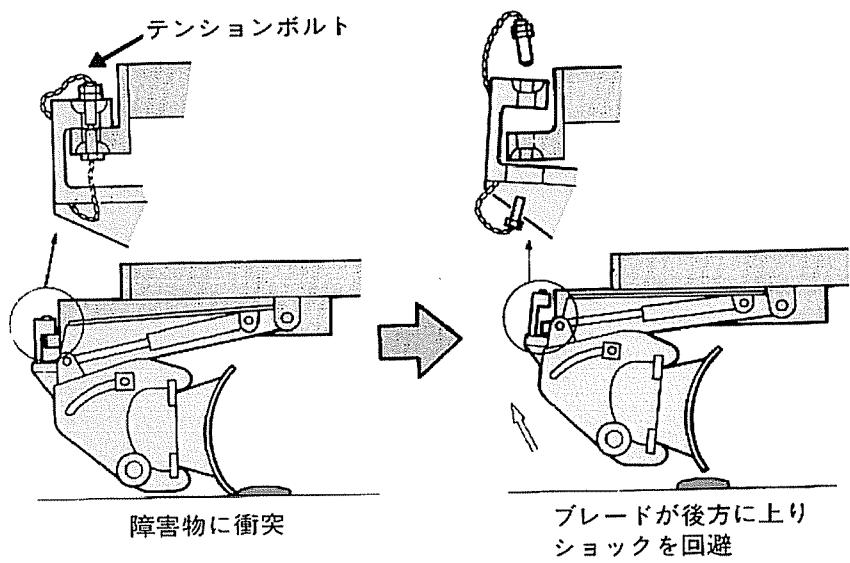
他の呼び名1	タイヤチェーン	
他の呼び名2		
他の呼び名3		

オプション機器説明様式

		記号
機種	除 雪 グ レ ー ダ	G
統一機器名称	床マット	

運転席、助手席キャビンフロアに敷くマットで、靴底に付着した雪の水分を受け止め、スリップや室内床下の濡れを防止する。

写真

構造

他の呼び名1	フロアマット	
他の呼び名2		
他の呼び名3		

オプション機器説明様式

		記号
機種	除 雪 グ レ ー ダ	G
統一機器名称	ブレードスリップクラッチ（blade slip clutch）	

ブレード両端部が路面の突起物に衝突したときサークルピニオン部のクラッチ装置がすべりサークルが回転することによって作業装置を破損から保護する装置。

写真

構造

他の呼び名1	ブレードクラッチ	
他の呼び名2	反転（機構）	
他の呼び名3	シャーピンレス装置	
他の呼び名4	クラッチ式回転機	

オプション機器説明様式

		記号
機種	除雪グレーダ	G
統一機器名称	シャッターブレード	SB

ブレード（プラウ）の左端部に装着され、開閉式で、雪を一時的にかかえこむことができる（除雪の際の雪こぼれを防止する装置）。

写真

構造

サイドシャッタ作業姿勢

他の呼び名1	サイドシャッター	SS
他の呼び名2		
他の呼び名3		

オプション機器説明様式

		記号
機種	除 雪 グ レ ー ダ	G
統一機器名称	ブレード緩衝装置	

ブレードがマンホールなどの障害に衝突した場合、テンションボルトが切断され、ブレードがはね上がり、オペレータへの衝撃が緩和され、作業装置の破損も防止できる装置。

写真

構造

他の呼び名1	セーフティーブレード	
他の呼び名2	ブレード衝撃逃げ装置	
他の呼び名3		

オプション機器説明様式

		記号
機種	除 雪 グ レ ー ダ	G
統一機器名称	スノータイヤ（スタッドレスタイヤ）	
グレーダ用冬用タイヤ		
構造		
他の呼び名1		
他の呼び名2		
他の呼び名3		

事　務　連　絡
平成１３年１２月４日

岩手県　土木部
　建設機械補助担当課長　殿

東北地方整備局
道路部　機械課長

「建設機械整備費補助事業で購入する除雪機械の建設機械番号及び
文字の表示について(平成10年12月14日付け事務連絡)」の当面の運用ついて

標記について、当面の間、下記のとおり運用しますので連絡いたします。
なお、貴管轄下市町村にも連絡をお願いいたします。

記

1　変更箇所　別図－２（別添のとおり）

○建設機械整備費補助事業で購入する除雪機械の建設機械番号及び文字の表示について

（平成10．12．14　事務連絡
建設省建設経済局建設機械課
機械施工企画官から
関係道府県土木部等
担当課長あて）

標記については，建設省建設機械塗装基準を参考に実施されていることと思いますが，今後は下記運用により実施することとしたので，貴管轄下関係市町村（指定市を除く。）にも周知徹底のうえ，取り計らい願います。

なお，「建設機械整備費補助事業で購入する除雪機械の建設機械番号及び文字の表示について」（平成6年9月27日付け事務連絡）は廃止する。

記

1　建設機械番号及び「建設省補助除雪機械」の表示

1)　表示内容

①　建設機械番号………別図－1による。

②「建設省補助除雪機械」の表示………別図－2のイ）を表示することを原則とするが，除雪機械の形状等でイ）の表示が困難な場合はロ）を表示する。また小型機械等でイ）およびロ）の表示が困難な場合はハ）を表示する。

2)　表示位置

①　本体部…………………両側面の適当な位置。

②　プラウ部分……………プラウ後面右上部の適当な位置。

③　ロータリ除雪装置……両側面の適当な位置。

2　地方公共団体名の表示

地方公共団体名の表示は，機械の大きさ，構造等を考慮して，なるべく大きく記入するものとする。また，機械の前後についても，記入スペース，標識等を考慮して，可能な限り記入するものとする。

3　機械名の表示

機械名の表示を，機械の大きさ，構造等を考慮して記入するものとする。

4　実施時期

平成11年度新規購入時からとする。

別図－1

別図－2

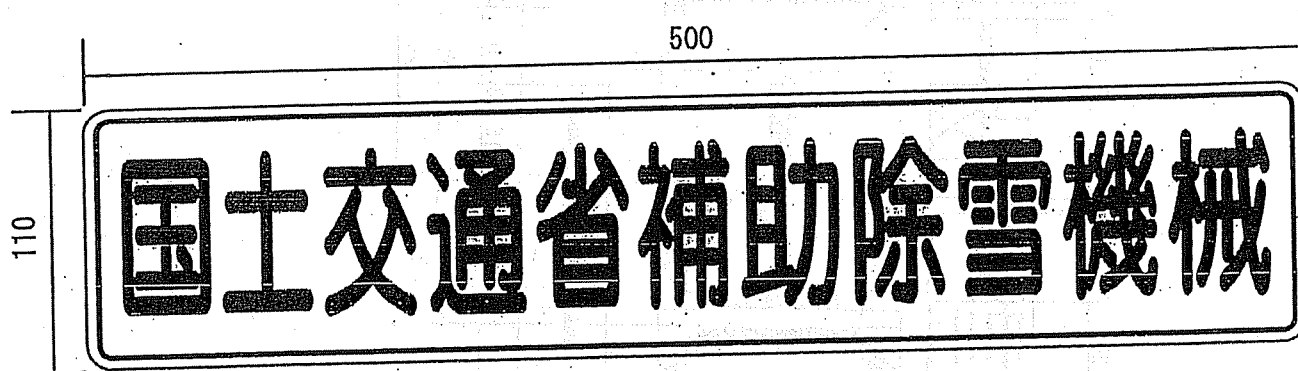
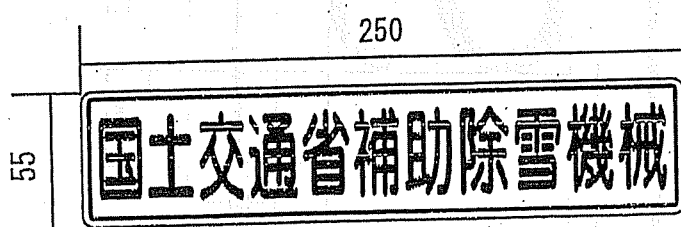
イ）

ロ）

ハ）

250

55

国土交通省補助除雪機械

契約（納品）内訳書

年　月　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

契約者名

		価格（税抜き）	消費税	価格（税込み）
本体	除雪グレーダ　4．0m	0円	0円	0円
形式	メーカーの形式を記載すること。			
付加仕様	運航記録計	0円	0円	0円
	チェーン	0円	0円	0円
	油圧式ブレードチップ	0円	0円	0円
	床マット	0円	0円	0円
	スタッドレスタイヤ	0円	0円	0円
	ブレードスリップクラッチ	0円	0円	0円
	シャッターブレード	0円	0円	0円
	ブレード緩衝装置	0円	0円	0円
	ラジオ	0円	0円	0円
計				0円

※1　内訳書には、個別の価格を記載すること。「本体に含む」又は「0円」等の記載は不可とする。
※2　内訳書には、「値引き」等の記載は不可とする。